

暖房器具による事故に要注意！！

～低温やけどや火災発生のおそれ～

これから寒くなり、暖房器具がなくてはならない季節になります。暖房器具は熱を作り出すため、多かれ少なかれ発火ややけどの危険性があります。今回は、暖房器具による事故ややけどの事例について紹介します。

< 発火などの事故事例 >

事例 1 10年ほど前に購入したホットカーペットを使用していたところ、スイッチを入れて2時間後にバチバチ音がしてコンセント付近のコードから発火し焼け焦げができた。

事例 2 電気式湯たんぽが使用中に破裂し、中の液体が飛び散ってやけどをした。調べたところ、この湯たんぽは、リコール商品だった。

アドバイス

- 長年使用している暖房器具は経年劣化で発煙・発火などの事故が起きやすくなります。時々点検を行い、性能が維持できなくなったものは使用をやめましょう。
- リコール情報はインターネットや新聞広告等で公表されます。また、消費者庁の「リコールサイト」でも調べることが出来ます。



発火する電気カーペット

< 低温やけどの事故事例 >

事例 1 こたつで就寝し朝起きると、足の指から出血しており、やけどに気づいた。左足の親指と人差し指を切断し、中指は皮膚移植を行うほどの重症だった。

事例 2 腰にカイロを貼り、電気毛布も使用し就寝した。翌日カイロをはがすと「痛がゆさ」があったので、皮膚科を受診したところ皮膚の深い部分までやけどをしていると言われた。



アドバイス

- 暖かく感じる程度の温度でも、長時間皮膚が接することによって「低温やけど」が起きます。低温やけどを防ぐためには、長時間同じ部位を温めないことが重要です。
- 低温やけどは傷みも少なく、一見軽そうに見えますが、見た目より重症の場合があります。早めに医療機関を受診しましょう。

温度	やけどになる時間
50℃	2～3分
46℃	30～60分
44℃	3～4時間

消費生活センター相談コーナーのご案内

相談専用電話 092-781-0999 電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

受付時間 月曜日～金曜日（祝日は除く）9時から17時
第2・4土曜日 10時から16時（電話相談のみ）

インターネット消費生活相談

※ 相談は、福岡市内に在住または在勤・在学の個人の方のみに限ります。

相談無料
秘密厳守

